

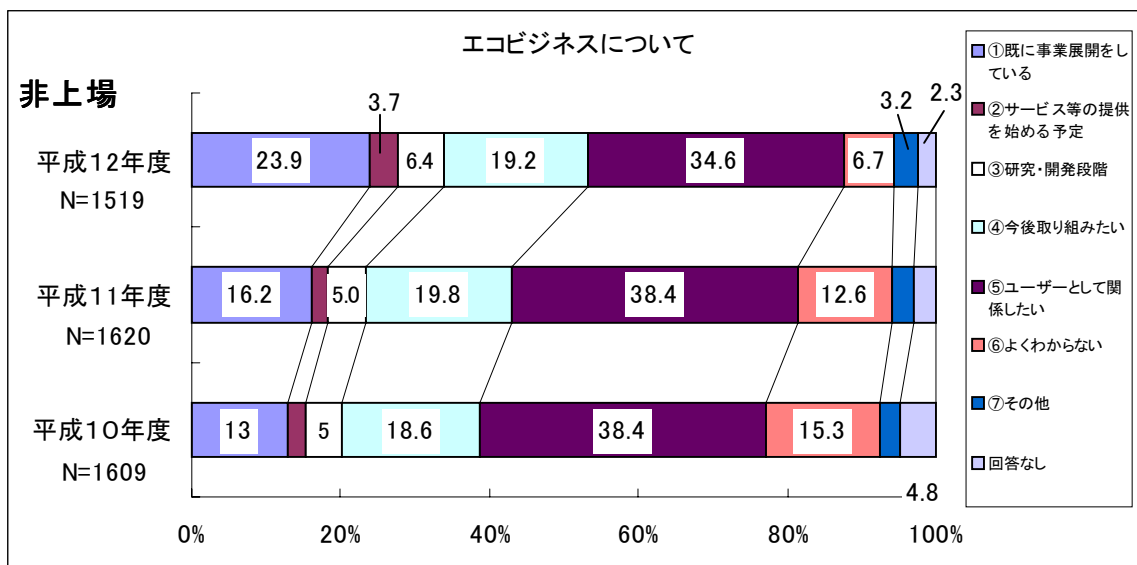
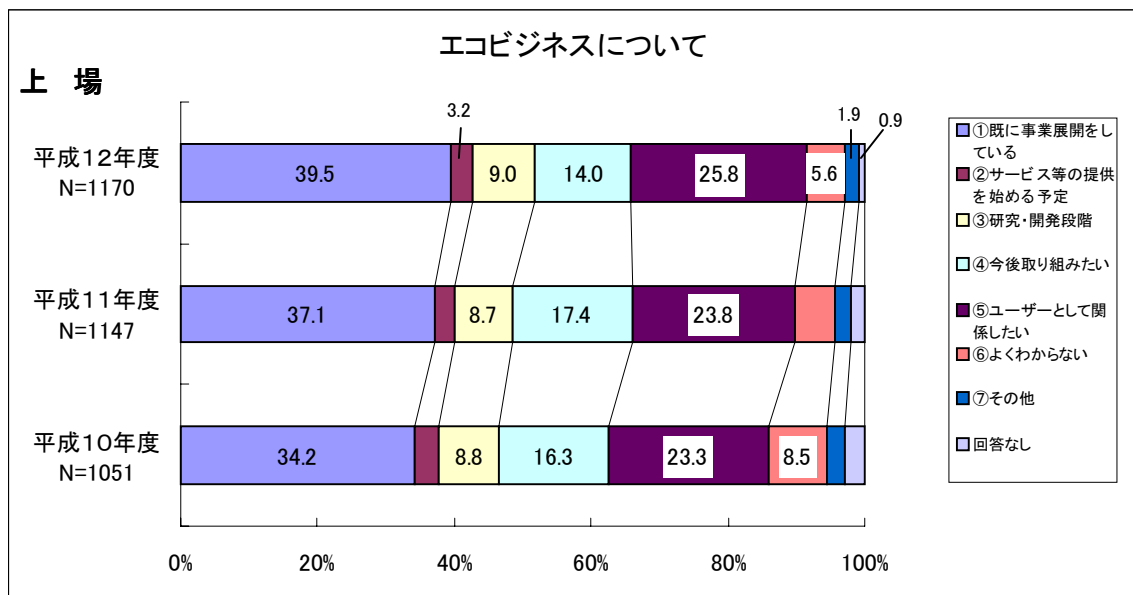
10. エコビジネスについて

10-1. 貴社では、エコビジネスをどのように位置づけていますか。

- 既に事業展開をしている、又はサービス・商品等の提供を行っている
- サービス・商品等の提供を始める予定がある
- 研究・開発をしている段階である
- 現状では何もしていないが、今後取り組みたい
- 自社の業務とは関係ないが、ユーザーとして関係していきたい
- よくわからない
- その他

上場企業では、「既に事業展開をしている、又はサービス・商品等の提供を行っている」と回答した企業が39.5%と最も多く、次いで「自社の業務とは関係ないが、ユーザーとして関係していきたい」の25.8%、「現状では何もしていないが、今後取り組みたい」の14.0%などとなっている。非上場企業では、「自社の業務とは関係ないが、ユーザーとして関係していきたい」が34.6%と最も多く、次いで「既に事業展開をしている、又はサービス・商品等の提供を行っている」の23.9%、「現状では何もしていないが、今後取り組みたい」の19.2%などとなっている。

昨年度と比べると、「既に事業展開をしている、又はサービス・商品等の提供を行っている」と回答した企業は、上場企業で2.4ポイント、非上場企業で7.7ポイント増加している。



上場企業のみ

10-1で に をした企業について、次の質問に回答してもらった。

10-2. 貴社のエコビジネスの中で、売上が伸びている分野はありますか。(複数回答可)

a: 環境負荷を低減させる装置等の開発、販売

1) 公害防止装置等

- | | | |
|-------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 大気汚染防止装置 | 水質汚濁防止装置 | ごみ処理装置 |
| 騒音振動防止 | 大気汚染計測装置 | 水質汚濁計測装置 |
| 騒音振動計測装置 | フロン排出抑制装置、フロン回収装置、フロン破壊処理装置 | CO ₂ 触媒固定化技術 |
| 純水利用の洗浄装置 | CO ₂ 分離技術 | 原油流出対策技術 |
| CO ₂ 植物固定化技術 | CO ₂ 処分技術 | |
| その他 | | |

2) 省エネ型装置又は技術システム

- | | | |
|----------|------------|-------------------|
| 燃料電池 | 高効率電池 | コージェネレーションシステム |
| パッシブソーラー | スーパーヒートポンプ | 21 未利用エネルギー活用システム |
| 22 その他 | | |

3) 省資源型装置

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| 23 再資源化装置 | 24 再資源化技術 | 25 その他 |
|-----------|-----------|--------|

4) 自然エネルギーによる発電システム

- | | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 26 水力発電装置 | 27 風力発電装置 | 28 地熱発電装置 |
| 29 新エネルギー発電装置 | 30 ごみ発電装置 | 31 その他 |

b: 環境への負荷の少ない製品等の開発、販売

5) 低公害車

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 32 電気自動車 | 33 メタノール車 | 34 天然ガス自動車 |
| 35 ハイブリッド自動車 | 36 その他次世代自動車 | 37 その他 |

6) 廃棄物のリサイクル・省資源化

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 38 アルミ缶リサイクル | 39 スチール缶リサイクル | 40 カレット(ガラス屑) |
| 41 古紙 | 42 再生プラスチック | 43 再生ゴム |
| 44 その他 | | |

7) 家庭での省エネ機器等

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 45 太陽熱利用機器 | 46 太陽光発電装置 | 47 住宅の断熱化 |
| 48 省エネ家電製品 | 49 その他 | |

8) より環境への負荷の少ない商品

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| 50 生分解性プラスチック | 51 代替フロンガス | 52 その他エコマーク商品 |
| 53 生分解性潤滑油 | 54 非スズ系の船底塗料 | 55 木材を有効利用した木製品 |
| 56 その他 | | |

c: 環境保全に資するサービス等の開発、販売

9) 環境アセスメント

- 57 環境アセスメント

10) 廃棄物処理・再生資源回収

- | | |
|------------|-------------|
| 58 廃棄物処理事業 | 59 再生資源回収事業 |
|------------|-------------|

11) 土壌・地下水汚染浄化

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 60 土壌・地下水汚染状況調査 | 61 土壌・地下水汚染浄化事業 |
|-----------------|-----------------|

12) 環境維持管理・環境コンサルタント

- | | |
|-------------|-------------------|
| 62 環境維持管理事業 | 63 環境ビジネスコンサルティング |
| 64 環境監査事業 | 65 環境リスクマネジメント |

13) 情報型エコビジネス

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| 66 環境情報システム | 67 環境教育 | 68 環境関連情報出版 |
| 69 エコツーリズム | 70 その他 | |

14) 金融

- | | | |
|-----------|---------------|--------|
| 71 環境関連信託 | 72 環境汚染賠償責任保険 | 73 その他 |
|-----------|---------------|--------|

d: 社会基盤の整備等に関する技術、機器及びシステム等の開発、販売

15) 廃棄物処理施設等

- | | |
|----------------|----------------------|
| 74 廃棄物処理施設整備事業 | 75 廃棄物管路収集輸送システム整備事業 |
|----------------|----------------------|

16) 省エネ・省資源型システム

- | | | |
|------------------|--------------|------------|
| 76 省エネルギー施設 | 77 地域冷暖房システム | 78 新交通システム |
| 79 下水処理水循環利用システム | 80 雨水等利用システム | |

17) 緑化・植林事業

- | | | |
|-----------------------|-----------|---------|
| 81 屋上緑化 | 82 沿道緑化事業 | 83 植林事業 |
| 84 環境負荷低減に資する森林整備関連事業 | | |

18) 下水道

- 85 下水道整備関連事業

19) 自然とのふれあいの場の確保に資する事業

- | | | |
|---------------|-------------|--------------------|
| 86 自然公園施設整備事業 | 87 都市公園整備事業 | 88 環境配慮型の道路・河川整備事業 |
|---------------|-------------|--------------------|

20) 水域環境回復事業

- 89 水域環境回復事業

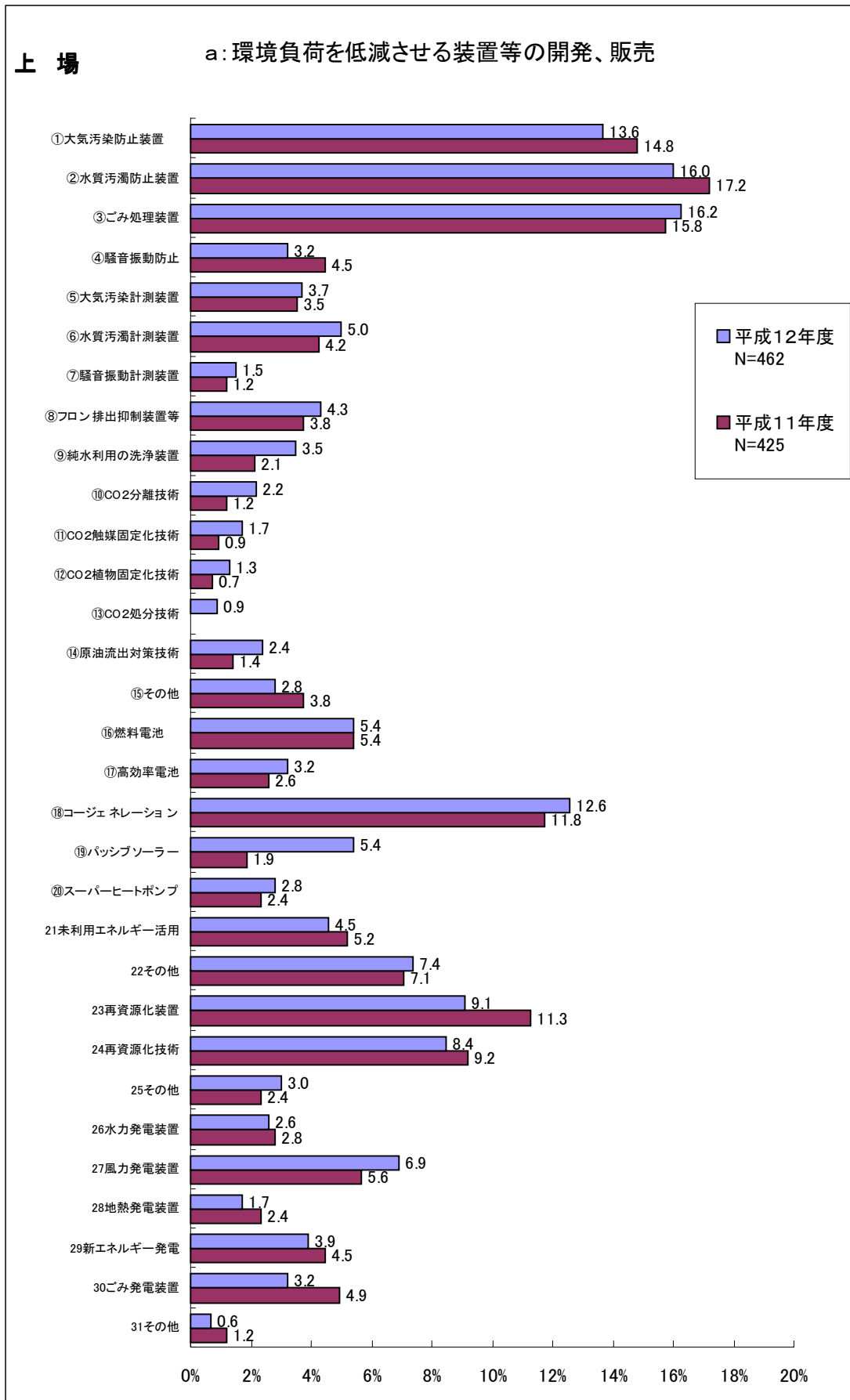
21) その他

- | | | |
|-----------------|----------|-----------------------|
| 90 エコステーション整備事業 | 91 透水性舗装 | 92 環境への負荷の低減に資する鉄道の整備 |
|-----------------|----------|-----------------------|

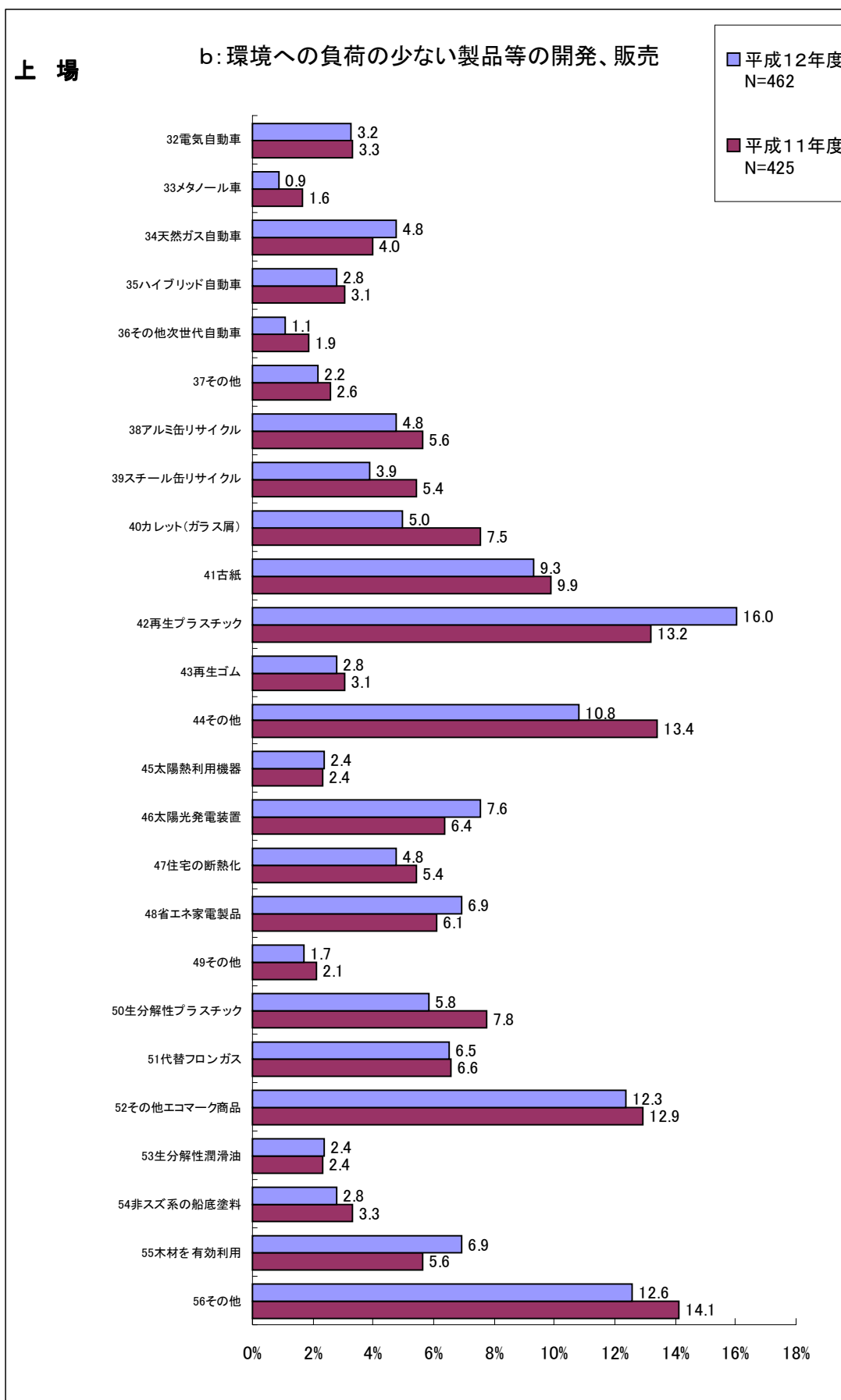
e: 伸びている製品・サービスはない

- 93 伸びているものはない

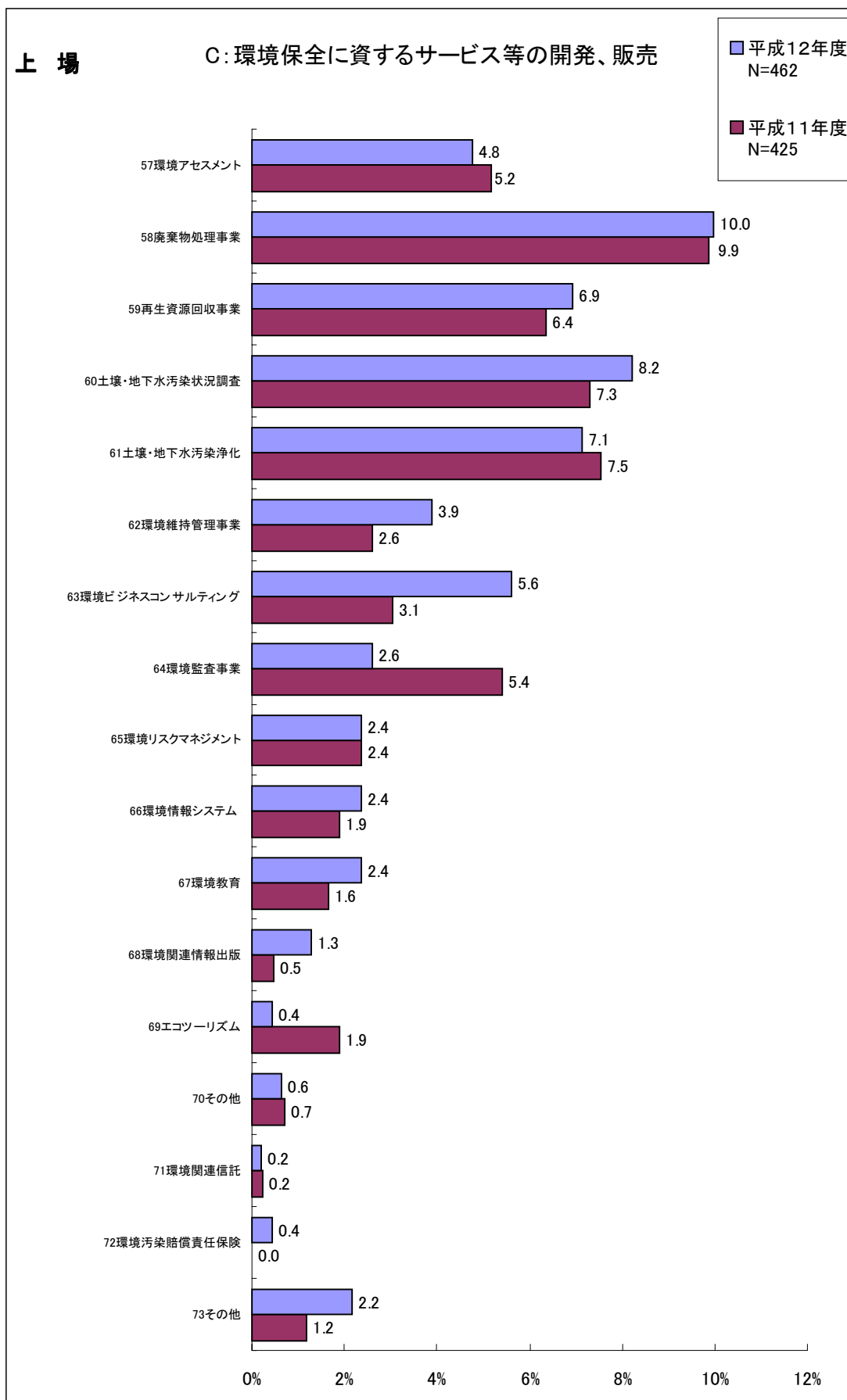
a：環境負荷を低減させる装置等の開発、販売では、「1）公害防止装置等の、ごみ処理装置」と回答した企業が16.2%と最も多く、次いで「1）公害防止装置等の、水質汚濁防止装置」と回答した企業の16.0%、「1）公害防止装置等の、大気汚染防止装置」の13.6%、「2）省エネ型装置又は技術システムの、コージェネレーションシステム」の12.6%などとなっている。



b：環境への負荷の少ない製品等の開発、販売では、「6）廃棄物のリサイクル・省資源化の、再生プラスチック」と回答した企業が16.0%と最も多く、次いで「8）より環境への負荷の少ない商品の、その他」と回答した企業が12.6%、「8）より環境への負荷の少ない商品の、その他エコマーク商品」と回答した企業が12.3%などとなっている。

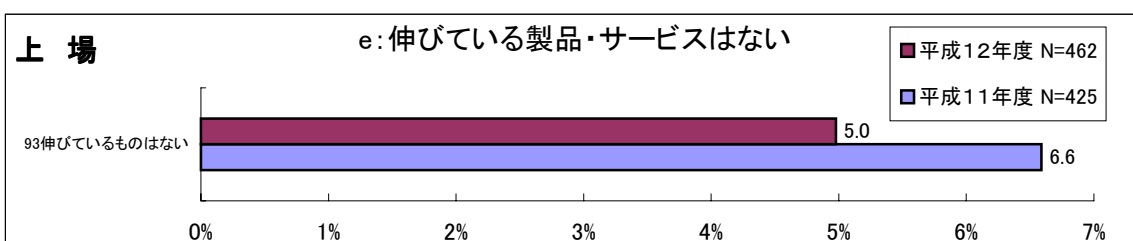
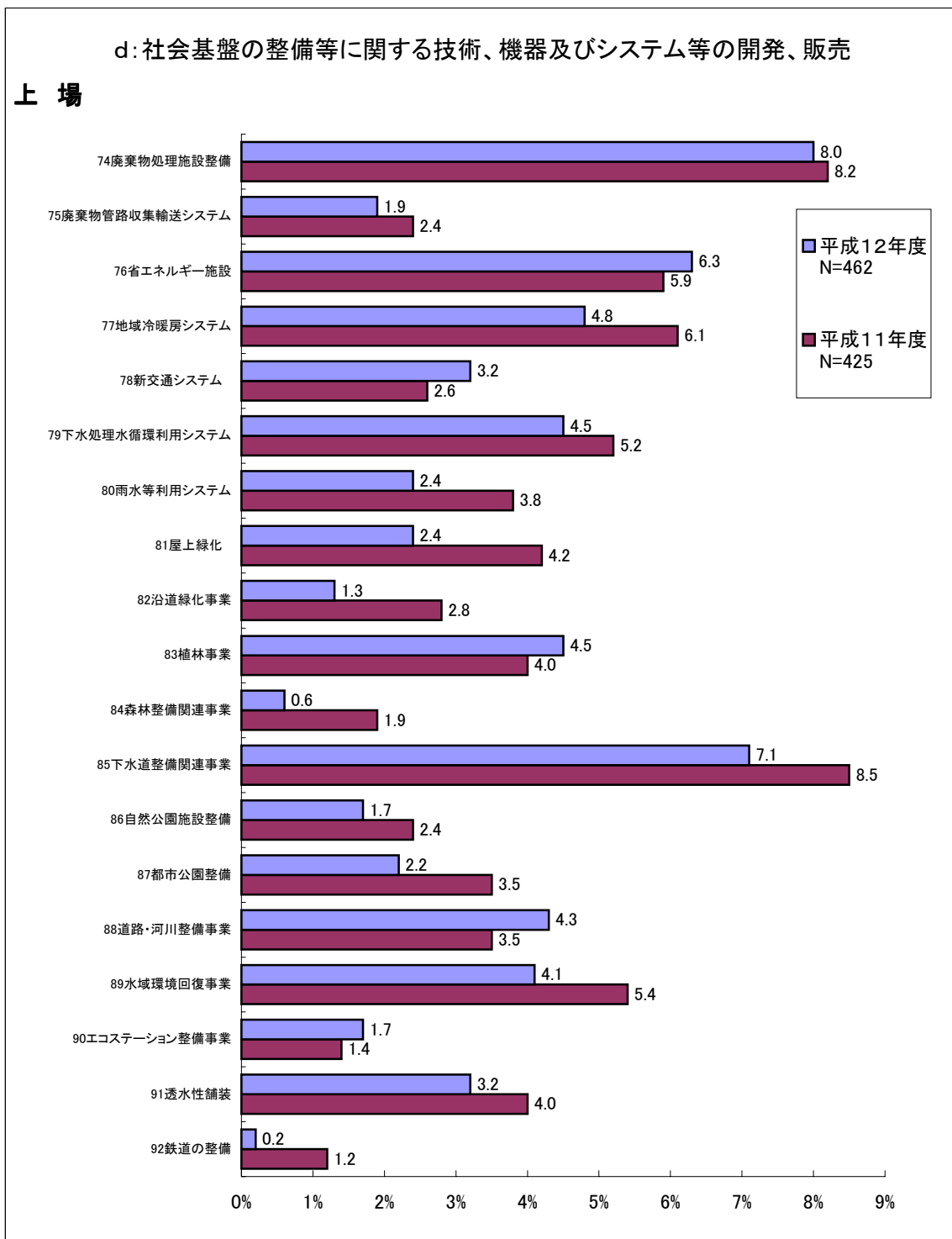


c：環境保全に資するサービス等の開発、販売では、「10）廃棄物処理・再生資源回収の、廃棄物処理事業」と回答した企業が10.0%と最も多く、次いで「11）土壌・地下水汚染浄化の、土壌・地下水汚染状況調査」の8.2%、「11）土壌・地下水汚染浄化の、土壌・地下水汚染浄化事業」の7.1%などとなっている。



d：社会基盤の整備等に関する技術、機器及びシステム等の開発、販売では、「15）廃棄物処理施設等の、廃棄物処理施設整備事業」と回答した企業が8.0%と最も多く、次いで「18）下水道の、下水道整備関連事業」の7.1%、「16）省エネ・省資源型システムの、省エネルギー施設」の6.3%などとなっている。

また、eの「伸びているものはない」は、5.0%となっており、前年度と比べると1.6ポイント減少している。



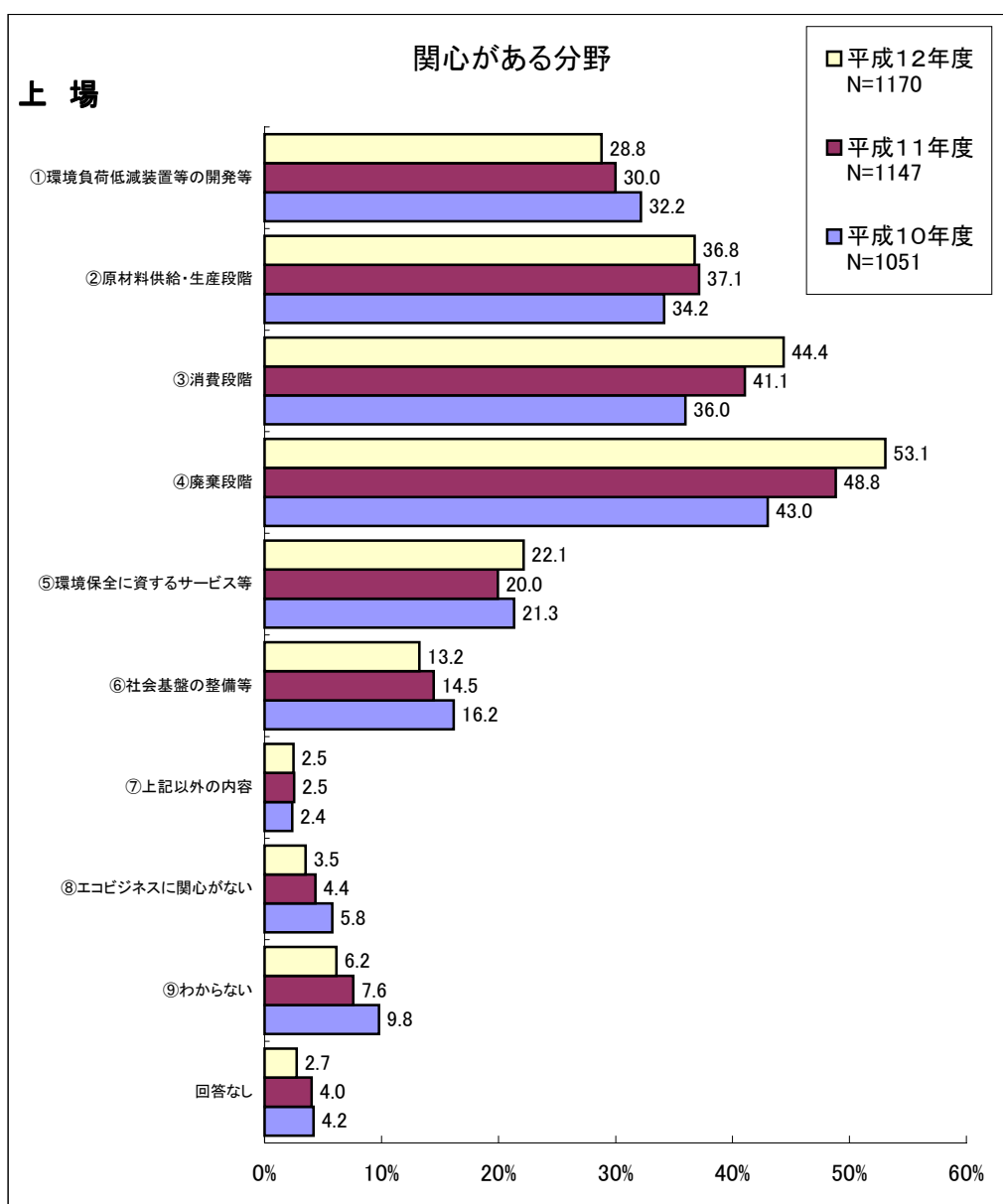
上場企業のみ

10 - 3 . 貴社の事業として、次の6つの分類の中でどの分野に関心がありますか。(複数回答可)

- 環境負荷を低減させる装置等の開発、販売
- 原材料供給、生産段階において環境への負荷の少ない製品等の開発、販売
- 消費段階において環境への負荷の少ない製品等の開発、販売
- 廃棄段階において環境への負荷の少ない製品等の開発、販売
- 環境保全に資するサービス等の開発、販売
- 社会基盤の整備等に関する技術、機器及びシステム等の開発、販売
- 上記以外の内容
- エコビジネスに関心がない
- わからない

「廃棄段階において環境への負荷の少ない製品等の開発、販売」と回答した企業が53.1%と最も多く、次いで「消費段階において環境への負荷の少ない製品等の開発、販売」の44.4%、「原材料供給、生産段階において環境への負荷の少ない製品等の開発、販売」の36.8%などとなっている。

昨年度と比べると、上位3項目は順位も同じで、その他の項目では「環境保全に資するサービス等の開発、販売」が2.1ポイント増加している。



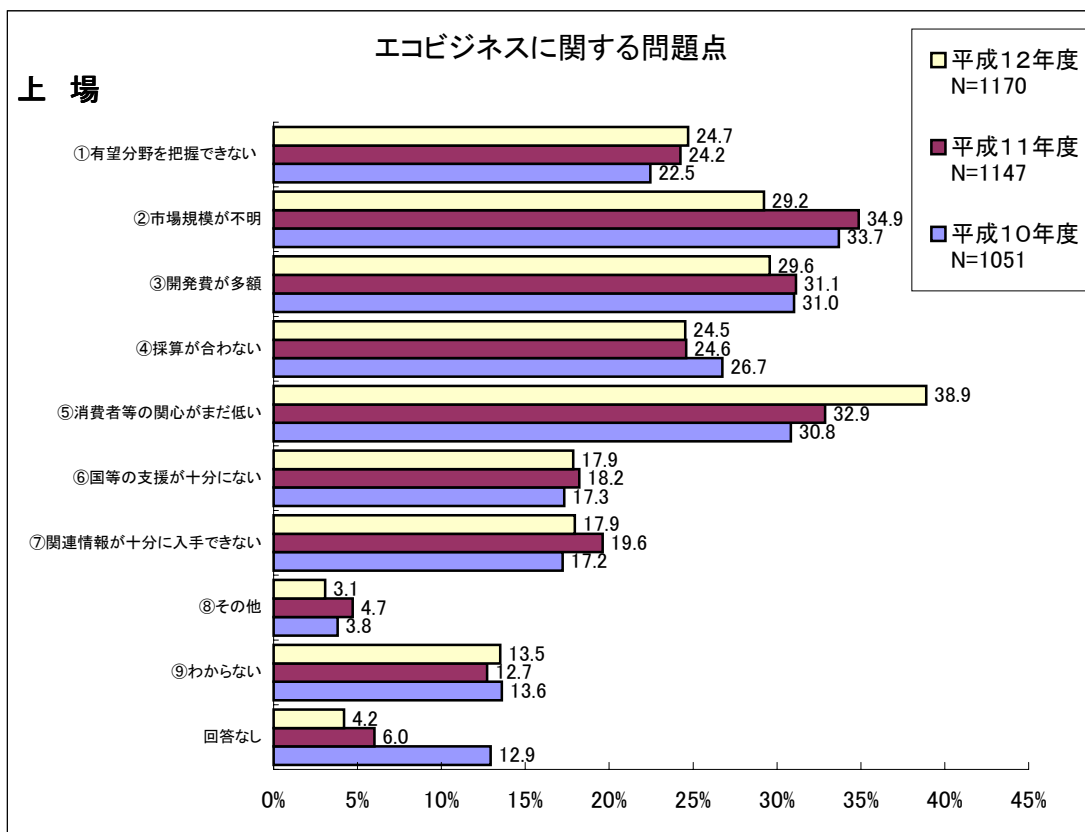
上場企業のみ

10 - 4 . 今後、貴社でのエコビジネスの進展において、どのような問題が考えられますか。
(複数回答可)

- どの分野が今後、有望であるか十分に把握できないこと
- それぞれの分野についての市場規模が分からないこと
- 開発費が多額になること
- 現状の市場規模では採算が合わないこと
- 消費者やユーザーの関心がまだ低いこと
- 開発や販売に当たっての国等の支援が十分でないこと
- 関連する情報が十分に入手できないこと
- その他
- わからない

「消費者やユーザーの関心がまだ低いこと」と回答した企業が38.9%と最も多く、次いで「開発費が多額になること」の29.6%、「それぞれの分野についての市場規模が分からないこと」の29.2%などとなっている。

昨年度と比べると、「消費者やユーザーの関心がまだ低いこと」が6.0ポイントと特に増加しており、「それぞれの分野についての市場規模が分からないこと」が5.7ポイントと特に減少している。



上場企業のみ

10 - 5 . エコビジネスの進展のために、行政にどのような支援を望みますか。（複数回答可）

- エコビジネスに関する情報の提供（具体的に）
- 行政によるエコビジネスに関する相談窓口の設置（具体的に）
- 税制面での優遇措置（具体的に）
- 規制緩和（障害となっている規制の例を具体的に）
- 低利融資等の融資制度の拡充
- 規制強化も含めた新たな市場づくり
- エコビジネスの客観的評価制度の確立（エコビジネスによる環境保全上の効果について）
- 消費者・ユーザーの意識向上のための啓発運動
- エコビジネスのためのネットワークづくり
- 特にない
- その他

「消費者・ユーザーの意識向上のための啓発運動」と回答した企業が45.2%と最も多く、次いで「エコビジネスに関する情報の提供」の23.8%、「税制面での優遇措置」の22.8%などとなっている。

昨年度と比べると、「エコビジネスに関する情報の提供」は14.4ポイント、「税制面での優遇措置」は7.4ポイントと特に増加している。

また、「エコビジネスに関する情報の提供」の具体例では、「市場規模」、「エコビジネスの具体例の紹介」、「法規制に関わる情報」などがあげられている。

